

KEISEI

Sep.2019

東洋大学京北校友会報

鶏 聲

校友会（同窓会）総会のお知らせ

2019年10月6日（日）

受付開始 11:30

総会場所 東洋大学 1号館 3階 1310 教室

懇親会会場 8号館 1階 TRES-DINING

住所：東京都文京区白山 5-28-20

電話：03-3946-6518

特集記事 創立 120 周年記念

井上 円了先生没後 100 周年記念



明治期



大正期



令和期



昭和期



平成期

Vol. 55

東洋大学京北校友会

www.keihokukoyukai.jp/

2019

東洋大学京北中学高等学校
教科書指定店

南天堂書房

〒113-0021 東京都文京区本駒込 1-1-28 (白山上)

☎ 3811-2428 FAX3811-2557

STARTS

スタートグループ
50th
Anniversary

おかげさまでスタートは50周年を迎えました。

スタートグループの総合施設管理

スタートファシリティサービス株式会社

〒103-0027

東京都中央区日本橋 3-1-8 スタート日本橋ビル TEL.03-3241-4593

www.starts-fs.co.jp/



白山上向丘 昭和7年創業

長寿庵

東京都文京区向丘 2-29-5 アトラスヒルズ 1F

TEL03(3811)4813 FAX03(3811)4817

<http://www.tyoujuan.com>

スポーツを
みんなのものに



株式会社

サス・スポーツプロダクト

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-17

TEL03-3233-3711 FAX03-3233-3716

info@sas-sports.co.jp

<http://www.sas-sports.co.jp>

「事は起こるを前提の思考」で
この街の“生命”を支える

あらゆる警備のご相談に対応します。

TSOK

東京都公安委員会認定
MEDIC FIRST AID 採用企業

株式会社 東京総合警備

〒113-0033

東京都文京区本郷1-12-7 甲田ビル2階

TEL : 03-5689-3562 FAX : 03-5804-8698

書籍・雑誌・マニュアル・カタログ・自費出版 など

おまかせ下さい!

精文堂印刷株式会社

〒116-0012 東京都荒川区東尾久 1-36-4

TEL : 03-3895-6211(代) FAX : 03-3892-1544

担当 大石 E-mail : ooishi@seibundou.jp

スポーツ用品のことならおまかせください。

SPORTSMANSHIP

検索

☆チームウェア ☆シューズ ☆ボール ☆記念品

SPORTSMANSHIP
www.sportsmanship.com

〒140-0001 東京都品川区北品川3-6-13 北品川サンハイツ1F
TEL:03-3474-8755 FAX:03-3474-8722
メール:info@sportsmanship.com

白山上交差点角

戸隠そば

満寿美屋

東京都文京区本駒込 1-2-2

03-3811-7686

つながる元気、ときめきキャンパス。

UNIV.
CO-OP

東洋大学生活協同組合
京北購買食堂店

<http://toyocoop.jp/keihoku/>



京北中学生・高校生の成長を心より応援しています

制服・文房具・書籍・飲食物・バランスのとれた食事提供など生徒に身近な店舗を目指します

教育環境の創造をサポート



教育環境の空間デザイン・家具什器・内装工事

清和ビジネス

www.seiwab.co.jp

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-3-18 東京建物室町ビル7F TEL:03(3272)6561



東洋大学京北校友会会長
井上 進

ご挨拶

平成の様々な思いを残しつつ、令和が始まりました。

世の中では、世界中のコンピュータなどの情報機器を接続するネットワークのインターネットと、人と人との交流を手助け・促進するサービスのSNSが合わさっている高度情報社会の発展と、AI（人工知能）が目覚ましく進歩しています。校友会は、新しい令和の時代にさらなる飛躍をして行きたいと思えます。

東洋大学京北中学高等学校の創立120周年おめでとうございます。京北尋常中学校は明治32年（一八九九年）2月に開校してから大正、昭和、平成、令和と五代の元号に亘り発展をして来ました。伝統のある母校に改めて感謝の意を表したいと思えます。

120周年の記念式典並びに祝賀会等は学校及び校友会で実施しませんが、心よりお祝いを申し上げます。

校友会の皆様方にはお変わりなくご健で、益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

日頃は校友会の皆様方に、学校並びに校友会に何かとお力添えをいただきまして誠に有り難うございます。

私は3月に約280名の中学・高校の卒業式に、また4月には約430名の中学・高校の入学式に、校友会代表として列席させて頂

きました。入学式では石坂校長先生や安齋理事長のご祝辞を拝聴させて頂き、自分が学生に戻ったようで懐かしくなりました。式辞の中で学祖井上円了の「諸学の基礎は哲学にあり」の言葉を引用されて、常に疑問と好奇心を持ち一人ひとりが自ら判断できる力を養うことが重要であると話されたことが大変印象に残っています。生徒さんが社会や新たな学生生活に羽ばたかれる卒業式、入学式は人生の新しい出発や一つの区切りとして色々と考えさせられます。

今期の校友会役員は発足して一年半が過ぎました。昨年には三年間の抱負をお約束させて頂きました。達成が困難な事案もありますが、できるだけ目的を達成できるよう今後とも努力をしていきたいと思います。

東洋大学の敷地に京北旧校舎の跡地の記念碑を建立支援する計画のための記念碑検討委員会を立ち上げましたが、こちら側が調整に時間を要したことや、京北及び東洋大学側の大幅な人事異動もあり、委員会を一度も開催することが出来ませんでした。記念碑建立の計画が停滞しないよう、今後も協議を行っていきます。

私は昨年の6月に東京の蓮華寺で行われました東洋大学主催の創立者井上円了没後100回忌の法要に参列しました。今年は没後100周年を記念して、「鶏聲」の昨年と今55号において特集記事を掲載致しました。是非読んで頂きたいと思えます。

保護者会役員の皆様方との交流は、保護者会の新会長 中野 かおり様が6月に就任されましたので引き続き親睦を図っていききたいと考えています。

昨年の京北祭は新役員の新しい試みとして、在学中の学生さんへの支援としてお弁当と飲み物の販売を行い、好評でしたので今後

も継続していききたいと考えております。

今年の京北祭は、9月21日（土）、22日（日）に開催する予定です。校舎2階の校友会室を開放しています。校友会、在校生、保護者の皆様方多数のご来場をお待ち致しています。

また、昨年開催しました総会では、台風が心配されました中、38人の校友の皆様方に東洋大学のフードコートにご出席して頂き誠にありがとうございました。残念ながら新卒高

校生の出席はありませんでした。そこで、新校友会の皆様お互いの親睦や情報交換の場として、何かご希望が有りましたら校友会まで遠慮なくお知らせ願いたいと思

います。今年の総会は10月6日（日）に東洋大学の1号館3階1310教室で総会を行い、引き続き懇親会を8号館1階レストラン「TRES-DINING」で開催する予定です。創立120

年記念でもありますので沢山の校友会の皆様、お誘い合わせてご参加下さい。また、楽しいアトラクションも計画しております。

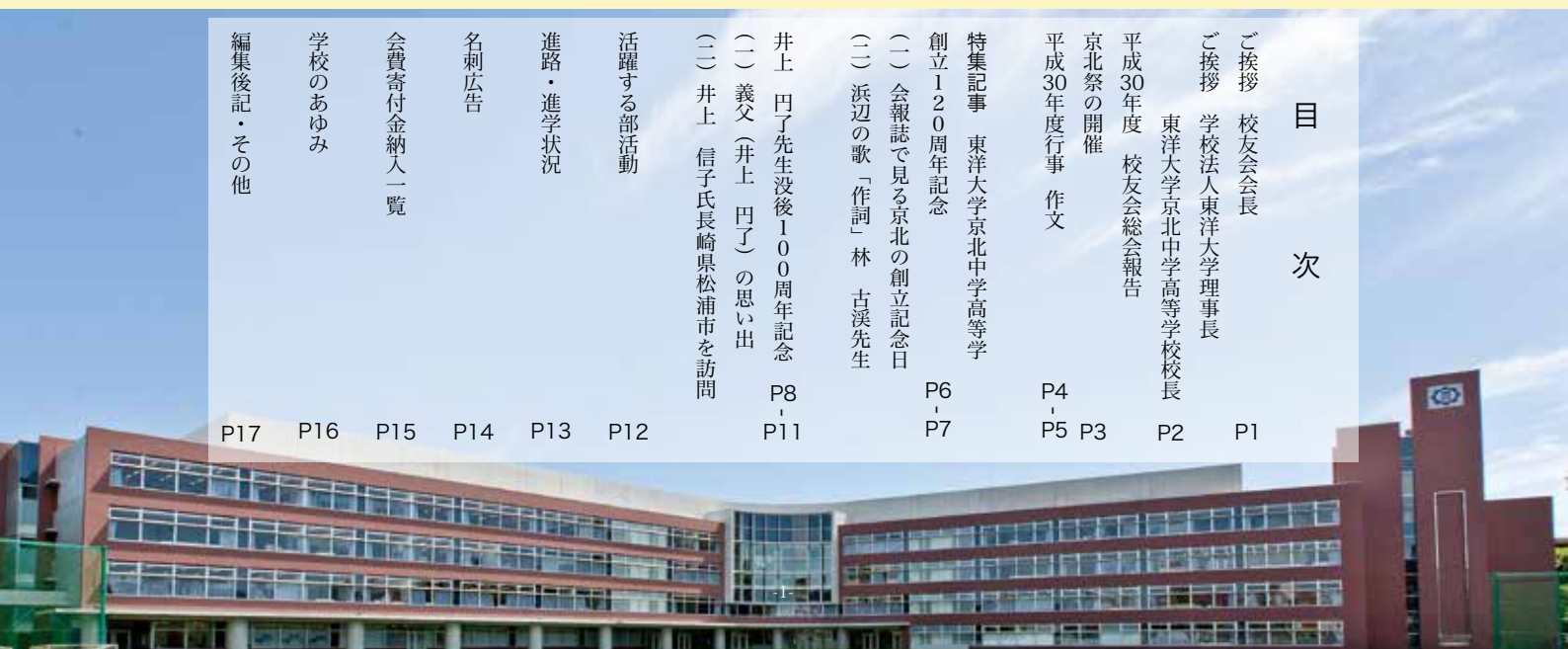
ここ数年学校の受験者数が増加し、先生方を始め学校の関係者の方々が努力を重ねていらつしやいます。我々校友会は学校と共に、更に活発に令和を前進していきたいと考えております。

これからも引き続き校友会皆様方の温かいご支援を頂きたいと思えますので宜しくお願いを申し上げます。



目次

ご挨拶 校友会会長	P1
ご挨拶 学校法人東洋大学理事長	P2
東洋大学京北中学高等学校校長	P3
平成30年度 校友会総会報告	P4
京北祭の開催	P5
平成30年度行事 作文	P6
特集記事 東洋大学京北中学高等学校創立120周年記念	P7
(一) 会報誌で見る京北の創立記念日	P8
(二) 浜辺の歌「作詞」林 古溪先生	P11
井上 円了先生没後100周年記念	P12
(一) 義父（井上 円了）の思い出	P13
(二) 井上 信子氏長崎県松浦市を訪問	P14
活躍する部活動	P15
進路・進学状況	P16
名刺広告	P17
会費寄付金納入一覧	P18
学校のあゆみ	P19
編集後記・その他	P20





学校法人 東洋大学
理事長 安齋 隆

ご挨拶

昨年12月に学校法人東洋大学理事長に就任いたしました安齋でございます。学校法人東洋大学のさらなる発展に誠心誠意尽力する決意をしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「東洋大学京北中学高等学校」は、2015年4月に新校舎で新たなスタートを切り、その後着実な歩みを続けております。石坂校長をはじめ教職員の方々のご努力と校友会、保護者の会の方々など関係各位のご支援に心から御礼申し上げます。

令和という新しい時代が幕を開けました。改元を機にこの30年間を振り返ると、平成は、冷戦の終結、経済の自由化、グローバル化、シオンの本格化と、世界の進む方向に展望を持ちやすい時代であったといえます。しかし、近年は反グローバル化、シオン、自国優先主義など、これまでとは異なる動きが始め、予測の難しい時代を迎えています。この混沌の時代を生きていくには世界で何が起きているのかを知り、日本が世界からどう見られているのか、そして何を期待されているのかを知る必要があります。

グローバル化は、日本の成長を持続する上で必要不可欠であり、日本は国をあげて挑戦し続けなければなりません。その基礎となるのは、目を世界に広げ、同時に世界の目で日本

を見るということを繰り返すことのできる「グローバル人材」であり、学校法人東洋大学全体でその育成に取り組んでおります。京北中学高等学校においても、その一翼を担って与えることを期待しています。

われわれを取り巻く環境には、世界的な政治経済情勢の激しい変化や止まることのない技術革新など、厳しいものがあります。本学は、そういう中で生き続けるために的確に変化に対応していくことが求められています。いつも基本を忠実に守るという決意と愚直さが極めて重要となります。本学の基本とは創立者井上円了先生が求められた「哲学する」という言葉に凝縮されているように、自ら真剣に自分の未来を「考える」ということではないでしょうか。われわれは、井上円了先生の意思を進化させ、東洋大学をはじめ設置諸学校が持つそれぞれの教育力を磨き上げ、かつ、総合力を引き上げていかなければなりません。

「京北」も『チーム東洋』の有力な一員として英知を結集し、改革を進めていただきたいと考えます。

歴史ある「京北」のさらなる発展のため、校友会の皆様の一層のご支援を賜りますようお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。



東洋大学京北中学高等学校
校長 石坂 康倫

ご挨拶

私は、今年度で本校着任8年目になりました。

高校共学2期生が3月9日に卒業し、4月から中高共に共学5期生を迎え、新たな教育活動と学校運営が始まりました。

私は、昨年の4月になってから学校が大きく変わったと思っています。その生徒たちも順調に成長しています。今年度は更に進化し、今年度入学して来た高校1年生と中学1年生もとても素直な生徒ばかりで教員も大きな希望に溢れています。

生徒は落ち着き、帰属意識が強まり、学校説明会の時にはスクールナビゲーターの生徒たちが、司会をしてくれ、学校での生活を紹介してくれます。その態度の立派さに参加者から大きな拍手をいただくほどです。勉学に対する姿勢も一段と良くなり、徐々にではありますが本校の教養主義の全科目履修型の大切さを理解して来たように思います。その証拠に、どの科目に対しても真剣そのもので学習する姿を見かけることが多くなったからです。また、教員も生活指導に力を入れ、服装と時間厳守に努めてくれたことで、学校内がアカデミックな雰囲気になってきました。

私は、「より良く生きる」ことをテーマとし、井上円了先生の建学の理念である「諸学の基礎は哲学にあり」を基盤として「本当の教養を身に付けた国際人の育成」を目的に日々

の教育活動に教職員と共に力を注いでいます。今年は、井上円了先生が京北中学校を開設してから数えると創立120周年になります。学校は新たになったものの、当初の建学の理念を引き継いだ東洋大学京北中学高等学校が哲学を基盤として発展することを井上円了先生もきつと喜んでくださっているものと私には納得しています。

私の願いは、最終的に生徒の皆さんに幸せになつてもらうことです。

そのためには、生徒一人一人が、本当の教養を身に付け、人のために役に立つ人、社会のために貢献してくれる人材になることであると考えています。自分さえ良ければいいという考え方では真に幸せになることはできないと思っています。大切な人、周囲の人々を幸せにしてこそ本当の幸せになることができると私は考えています。

正門のところに立つて生徒を迎える時にも、お互いに顔を見合わせて挨拶を交わす清々しさは何とも言えないですが、私には変わることなく、5年目になった今も正門での生徒との挨拶を続けています。最近では、大きな声で挨拶をすることから、顔を見て会釈する挨拶に変わってきたのはむしろ自然であり、大人としての礼儀さを感じます。

今や人気校とまでは言えないまでも注目される学校になったのは間違いないと思います。こういうことも学校法人東洋大学を含めた教職員は勿論のこと、京北保護者の会、そして同窓生組織の東洋大学京北校友会のお力添えの賜物と感謝しております。

いつか、哲学を基盤とした名門校と呼ばれる学校になるよう取り組んでまいります。今後とも、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

平成30年度 校友会総会報告

平成最後の校友会総会が、9月30日、正午より東洋大学の6号館地下1階の広い食堂で開催されました。台風の影響で足元の悪い中お集まり頂きました校友の皆様方には、御礼を申し上げます。

今回の総会は、9月22日、23日の京北祭翌週の総会であり、また、当日は台風24号が日本を縦断した日でもありました。2、3日前より台風が東京に接近することは分かっていたが、台風は九州で停滞をしており、関東の接近が当日の夜間になることが前日に判明しましたので、前日出席者全員に開催のご連絡を致しました。台風の影響で北海道からご出席予定の卒業50年ご招待の校友の方や、お体が悪くて当日欠席をしなければならなかった方々には残念なことだご推察致します。しかし、雨なので当日他をキャンセルされて総会に駆けつけて頂いた方もおり、50周年ご招待者6名を含めて当初予定の38名の人数で総会が行われました。総会の開始時刻は、風が少し吹く程度で、心配する雨はまだ降っていませんでした。役員一同開催出来てほっと致しました。

総会では、29年度事業報告及び決算報告並びに30年度の事業報告と予算案の報告がなされました。引き続きの懇親会では、ご来賓に来て頂きました石坂校長先生、安田事務長から学校の現状等のご挨拶があり、杉野前校友会長のご発声により懇親会が開かれました。

総会では、新卒業生の方々が来て頂けることを期待して、何時もの福引抽選の他に「じゃんけん大会」を開催、賞品もカラーテレビの他にデイズニールランドのペアチケット等を準備したのですが、ご都合が合わなかった

ようで残念でした。今後は、年齢層のギャップを感じない若い卒業生だけが集まれる企画を考えなければならぬと思いました。

台風が来て電車が止まるという情報があり、予定より30分懇親会を短縮しましたが、中には2次会を開いた先輩方もいらつしやることを聴いて只々敬服するばかりであります。



京北祭の開催

平成30年9月22日・9月23日の両日に、京北祭が開催されました。

今回、校友会は大きく企画を変更し、いつものOBルームの他にお弁当・飲み物の販売を行いました。「在校生に何か還元を！」と考え、卒業生と相談し、お弁当＆飲み物販売を決定しました。

在校生には、お弁当百円引きの販売です。販売のお手伝いにも新卒業生が来てくれました。販売、袋詰めなど不慣れな大先輩を横目に、手際よく、そして穏やかに販売する新卒業生。いつもと違ったフレッシュな校友会になりました。

販売をお手伝いいただきました卒業生の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年は、9月21日(土)、22日(日)に開催予定です。今回も校友会では「在校生還元」を企画しています。校友会の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※校友会では京北祭にお手伝いいただける卒業生を募集しています。「京北祭企画の件」で鶏聲裏表紙に記載の「校友会URL・ファックス」までご連絡お待ちしております。



4

April

- 入学式
- 始業式
- 健康診断
- 防災訓練

5

May

- 中学1年 FEC
- 中学2年 FEC
- 高校1年 OEC
- 高校 運動会
- 中学 運動会

6

June

- 中1年学祖墓参
- 高1年学祖の日
- 中間考査
- 高1キャリア講演会

7

July

- 合唱コンクール
- 職業見学
- セブ島英語研修
- オレゴンサマー
- 保護者会

8

August

- 夏期講習
- 哲学研修
- 哲学ゼミ

9

September

- 防災訓練
- 中期期末考査
- 特別授業
- 京北祭



● 作文

●2017年度 カナダ修学旅行
中学3年生 2018年3月
8日～3月14日

松澤 颯人

ホームステイの二日間は本当にあつという間だった。ホームステイ先では電気をなるべく使わなかったり、日本のように「いただきます」や「ごちそうさま」を言わなかったり、日本と違うところを沢山見つけることができた。マウント・ダグラス・パークという山から夜景を見たこと、みんなでピザを作ったことも印象に残っている。現地での自分の英語はまだまだだったので、もっと勉強して、また行きたいと思った。

土佐 瑛二

自分の英語力にはそんなに自信はありませんでしたが、ホームステイが始まると意外とすんなりと、ためらいなく英語を話すことができました。ホストファミリーには二匹の犬がいて一匹は元気な犬、二匹目はとても静かな犬でした。ファミリーは静かな犬を「ボス」や「ジェントルマン」と表現していました。優しいホストファミリーと二匹のかわいい犬たちと、充実した二日間を送ることができてよかったです。今度はもっと長くホームステイしたいと思いました。

段上 沙侑香

私は今回の修学旅行で、特にホームステイが印象に残っています。最初は絶対嫌だと思っていたけど、ホストファミリーの「B」さんはとても優しく面白い人でした。笑い声がすごく大きくて最初は驚いたけど、慣れてきてからはそれが面白くてずっと笑っていました。「B」さんは様々な場所に連れていってもらい、カナダならではの体験ができたと思います。

●京北中学校運動会

2018年5月25日

貴重な大役をつとめて

3年1組 市川 瑞季

昨年6月から1年間、執行部として活動しました。沢山の努力の甲斐もあり、東洋大京北らしい運動会になりました。今回1～3年生各クラスの実行委員21名と2・3年生の執行部21名の計42名をまとめ、中学全体での行事を企画して実行する、という大変貴重な大役をさせて頂きました。1年前、私にいい機会を与えてくださった体育科の鈴木先生をはじめ諸先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

●高校1年生 オリエンテーション合宿

高校1年生275名は、5月16日～18日、千葉県一宮市でオリエンテーション合宿を行いました。この勉強合宿は、友達と切磋琢磨して、努力する大切さや理解できる喜びを実感できた有意義な合宿になったことでしょう。これからの頑張り大いに期待しています。

1年3組 佐藤 和香

この合宿では、自習する事の大切さを学ぶ事ができました。今後の学校生活では、今回学んだ事や、できなかった点を生かし、テストや大学入試・模試などで、より高みを目指せるように頑張りたい。

1年7組 増田 玲奈

今回の夜の自習を有効に使えたと思います。終わった後「もう少し勉強したい!」「やりたい事ができた!」と実感することができました。また先生や友達がいた為、分からない事も解決でき、充実した時間を過ごせたと思います。

3 2 1 12 11 10

March

- 卒業式
- 中3 カナダ修学旅行
- 中2 鎌倉自主研修
- 中1 校外学習
- 修了式

February

- 入学試験
- スピーチコンテスト
- 全校集会

January

- 英語スピーチコンテスト
- ポートランド語学研修
- 英検
- センター試験激励会

December

- 高2 進路講演会
- 高1 進路保護者会
- 中3 東洋大川越訪問
- 保護者会

November

- 中学合唱コンクール
- 高2 沖縄修学旅行
- 高1 国際講演会
- 行き方講演会

October

- 保護者会
- 創立記念日
- 進路面談
- 全校集会



●中学合唱コンクールの実行委員長を務めて
実行委員長3年1組 坂東拓馬

今年、僕が委員長として行った仕事は始まりのあいさつ以外、何もやっていません。何故なら、他の委員達が周りを見て、積極的に行動してくれたからです。だからこそ、合唱コンクールを盛り上げることができました。また、積極的だったのは委員達だけではありません。11月に入るとほぼ毎日のように全てのクラスが練習していました。特に優勝した2年4組が積極的に練習をしていたのではないのでしょうか。講師として校長先生もおっしゃっていたように、今までで一番レベルの高い合唱コンクールになったのは、全生徒が積極的だったからこそだと思います。

●第4回 東洋大学京北高等学校
合唱コンクール 2018年6月19日

紫陽花の花が咲き始めた6月19日、第4回合唱コンクールが王子の北とびあで開催されました。

「運動会、定期考査、合唱コンクールと短い時間の中で練習をした、素晴らしい歌声の感動する曲ばかりでした。チームで取り組むことの大切さを感じられたのではないのでしょうか。想像以上の合唱でした。『今後みんなに感

動を与えるよう学習、部活動すべてに個人としてチームとしてこれからも取り組んで行つてほしい。」と石坂校長先生からもうらしいお言葉をいただきました。

第4回 東洋大学京北高等学校合唱コンクール 2018年6月19日 選曲と受賞結果		
最優秀賞 3年7組 青い鳥		
金賞 1年7組 青い鳥	金賞 2年7組 あなたへ	
銀賞 1年5組	銀賞 2年5組	銀賞 3年6組
銅賞 1年8組	銅賞 2年4組	銅賞 3年4組
特別賞 2年6組		
指揮者賞 1年6組木村 遥花 2年5組谷川 ゆきの 2年7組島根 歩美 3年7組富永 菜麻		

第 4 回 東洋大学京北中学校合唱コンクール 2018 年 11 月 17 日 選曲と受賞結果		
金賞 2 年 4 組 手紙		
銀賞 3 年 2 組 友		銅賞 2 年 3 組 プレゼント
学年賞 1 年 1 組 マイバラード		
指揮者賞 1 年 4 組 所谷 真白 2 年 4 組 朝倉 響己 3 年 2 組 江口 亮太 3 年 2 組 福原 日菜		



高等学校 最優秀賞（金賞）3年7組

●特集記事

●東洋大学京北中学校高等学校創立120周年記念

(一) 会報誌で見る京北の創立記念日

東洋大学京北中学校高等学校の創立120周年を記念して、京北の歴史を過去の会報誌から集めてみました。

今回は創立記念日の特集号が、どのような会報誌であったかを表にまとめました。会報誌の第1号は、一九六〇年（昭和35年）12月に発行されました。

会報誌で見る京北の創立記念日

会報 No. (発行年・月)	創立周年記念式典 (開催年・月・日)	特集記事、式典の内容他
特集号 (1964年1月)	65周年記念式典 (1963年12月7日・8日)	総合体育館 新築落成式 東洋大学講堂で式典、新体育館で祝賀会
13号 (1974年12月)	75周年記念式典 (1973年10月18日)	功労者・永年勤続者表彰 学園内で式典及び祝賀会
18号 (1979年1月)	80周年記念式典 (1978年10月18日)	功労者・永年勤続者表彰 学園内の講堂で式典及び祝賀会
27号 (1989年5月)	90周年記念式典 (1988年10月15日)	目で見える記念式典（除幕式、京北祭） 学園内及びアルカディア市ヶ谷で式典 南水会館で祝賀会
37号 (1999年5月)	100周年記念式典 (1998年9月27日)	東京国際フォーラムで式典 卒業生 植木 等氏の記念講演
46号 (2009年7月)	110周年記念 (式典なし)	学祖井上円了と京北学園 京北中学校創立趣意書、生徒募集の新聞広告 創立当時の京北中学校の写真



(二) 浜辺の歌「作詞」 林 古溪先生

東洋大学京北中学高等学校の校門を入って直ぐ左側に『浜辺の歌』の歌碑があります。皆様はご存じだと思いますが、その作品の作詞をされたのが林古溪（はやしこけい）先生（1875年～1947年）（明治8年～昭和22年）です。

林先生は歌人であり作詞家、漢文学者であります。哲学館（現在の東洋大学）教育学部を卒業後、京北旧中学の教師として国漢科の教鞭をとられました。生徒たちからは「達磨（だるま）さん」と呼ばれていました。

また、東洋大学の校歌の作詞を、作曲家 山田耕筰先生（1886年～1965年）（明治19年～昭和40年）と一緒に作られました。山田先生は有名な童謡作家で『赤とんぼ』『この道』『ペチカ』等々の名曲があります。山田先生と林先生との出会いは師範学校（教育の養成を目的とした中学・高等教育の機関）在学

中に知り合い東京音楽学校（東京芸術大学音楽部の前身）の校友会誌「音楽」にその詩を寄稿してもらった仲でありました。

『浜辺の歌』の作曲家、成田爲三先生（1893年～1945年）（明治26年～昭和20年）は、山田耕筰先生に師事を受け、代表曲には成田爲三先生作曲、西條八十先生作詞の『かなりや』などがあります。

『浜辺の歌』は日本の歌百選に選定されています。

「はまべ」↓「浜べの歌」↓「浜辺の歌」とタイトルが変更されていることや、歌の三番が付け加えられ後に削除されたことなど、『浜辺の歌』は謎多い歌ともなっています。



●井上 円了先生没後100周年記念

祖母が執筆した「義父（井上円了）の思い出」の手記を京北で初めて公開いたします。円了先生の人柄が出ている貴重な手記です。

井上 進

（一）「義父（井上 円了）の思い出」

1977年（昭和52年9月） 井上 信子 著

今眼を閉ざればもう五十八年も前の事なのに、昨日の事の様にまざまざと私のまぶたに浮かぶ。

それは忘れもせぬ五月雨しとしと降る大正八年五月端午の節句の朝であった。朝十時いつもの如く、小牧の主人（人力宿の主人）の俵が迎へに来た。（義父は外出の際、此の俵宿の人力俵を利用するのが常であった。）

義父【以降、父と記す】はいつもと変わらぬ面持ちにて前日（四日）日本橋白木屋（現在の東急デパート）で自ら求めし薄嵐合のインバネスを着用、山高帽を被り、やおら俵上の人となった。

私は生後六ヶ月の長男（民雄）を抱き、門前迄見送った。父は満面に笑を湛え孫の顔を見たら「土産を買って来てやり度も、まだ小さくて何もわからぬでう」と云いつつ俵上の人となった。

やがて幌は掛けられ、かじ棒は上げられ、父は支那への旅に趣く為東京駅へと向った。これが父との永遠の別れにならうとは神ならぬ身の知るよしもなかった。

やがて一ヶ月は何事もなく過ぎ去ろうとして居た。六月七日、私は買い物に出掛け、一時頃帰宅せんと門の近く迄来た処、金子の義妹がただならぬ面持ちにて門前にておろおろしていた。

「どうなさったの？」と聞けば、お父様が大連でお亡くなりになり、今お兄様に電話を掛けたのにまだ帰っていらつしやらないので、待っている処と云われ、正に青天の霹靂とは此の事か、私は只茫然とし

て言葉を失い家に飛び込み義母の許に行きすべての事態を知った。

其後は、学校関係の方々、新聞社の人々が来られ、てんやわんやの有様であった。主人（玄一）は、夜行で直ちに大連に直行すると云うので、私は其の支度に忙殺され主人の立出も只夢の様であった。

翌日の各新聞紙上に父の訃は大きく報道され遺骨帰宅の十七日より葬儀の廿三日迄連日來客、各宗の僧侶の方々の弔門、読経、殆んど毎日がお通夜の如き常態であった。

そもそも私が父に初めて逢ったのは、十一才の時、義妹と友達であった関係でよく遊びに来て居たが、いつも不在がちの父が義妹はよく「うちのお父様って始終御旅行ばかりしていらして家にいらつしやらないから、たまに家にいらつしやると何だか変なのよ」とよく云って居た。

其の父がたまたま珍しく在宅にて何か書物をして居たらしく耳に小筆を挟み書齋から出て来て、私の挨拶に應えて「アアいらつしやい」と云って、電話に出て行つた。

それ以来暫らく父には逢う機会もなく、女学校に入學した時義妹に誘われ、義父、義母と共に私は始めて和田山に行つた（家では哲学堂の事をいつも和田山と云っていた）のは大正元年の秋であった。

一同は目白駅で人力俵に乗り、途中父は「わしはいろいろ買物をして行くから先に行きなさい」と云うので、私達は先に哲学堂の鑽仰軒（父が在世中哲学堂に來た時泊まった家。現在は壊して跡形も無し）に入つた。

留守番のせい（永い間哲学堂の留守居をしていた婆や）が畑から大根、里芋を掘つて来て食事の支度をし、やがて父が着き、其の手には途中で買つて來たのだろう、お豆腐、お魚、果物を持つて居た。私は子供心に何と氣のつく方、又此の方が有名な学者なのにと深い感銘を受けた。



▲井上円了先生の永眠



▲萬里の長城不帰の一週間前



▲井上円了先生ご一家



▲葬儀の様子



▲井上円了先生ご臨終時の自筆扇



▲遺骨帰宅時の行列



▲実筆の絵ハガキ前



▲昔の哲学堂公園



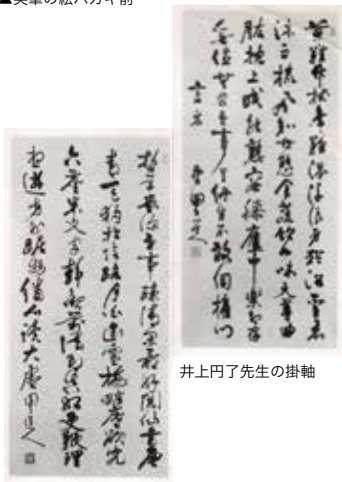
▲人力俵



▲昔の哲学堂建物



▲実筆の絵ハガキ



井上円了先生の掛軸



井上円了先生の郵便物

其後父は旅行がちで、逢うこともなく、縁あって女学校卒業と同時に井上家に嫁し、目の当たり父に接し、無言の訓えに、又人格にどれ程打たれた事か。どんな事があっても決して小言を云ったことが無く、又怒った顔を見せたことも無く、自分の身は節約して人には厚くした。還暦の祝いには、私共始め父の兄弟、姉妹、召使いに至るまで祝儀を与え、又公共事業に寄附をした。

新婚当時の私に気をつかい、たまに旅行より帰って在宅の折には、春の花見、東京名物の食べ物屋等へ連れて行ってくれて、歌舞伎座でよい芝居が上演されれば、主人と二人観劇に行ける様手配もしてくれ。また、巡講から帰宅すれば、僅かの暇をさき家中で帝国ホテルとか当時有名だった富士見軒に食事をしに連れて行ってくれた。

或る時群馬馬場下へ巡講の折、農家より貰いしコンニャク粉を台所に持ち出し、一同を集め「今わしが美味しいコンニャクを作つてやるから見ていなさい」と女中に大釜にお湯を沸かさせ、コンニャク粉を溶かし、それを型に入れて冷やし、「ホレこんなに美味しそうなのが出来たじゃろ」と、ご満悦だった。其のコンニャクは透き通つて味もよかった。

又、コーヒー好きの父は、コーヒーだけは決して人手を使わず、書斎のガスコン炉の上で湯を沸かして入れ、皆に飲ませてくれた。

巡講から帰宅すると「油が切れたらしく心棒の廻りが悪い」とよく漏らした。これは大好物の精進揚げが食べたいと云う催促なのである。決して揚げ物を作れとは云わなかった。

あまり無駄口をきく人ではなかったが、たまに冗談を飛ばしては皆を笑わせた。

巡講から帰宅した時の忙しさは、朝から座敷に毛布を敷き大きな硯に墨をすらせ、書を書く支度をさせ、何枚も次から次へと書きまくる掛軸、扁額用と其の早く精力的なのは、いつも私は驚嘆した。

これらは巡講の折依頼を受けた書で、出来上がれば直ちに包装しすぐ郵送した。また、巡講の折世話に

なりし市町村へ父の書いた小冊子を発送するのに一同大わらわ、何個もの小包を総出で造つて送った。

まだ生まれて間もない長男（父には初孫の長男民雄）をどうしても「わしが風呂呂に入れる」と云ってきかず、頭で赤坊の頭を押さえ付けて入れ、とても満足気であった。

ちょうど珍しく巡講もなく家にいたお正月の或る日、義母の兄の家へ年始に行くとい、鬼屋（当時有名な上野の菓子店舗）の最中の大箱を取り寄せ電車通り迄出た。其の日は前日の残雪が溶け出し、往來はどろんこ道だった。其の処へ風呂敷がほどけて、最中の折を落とす中の最中が転がり出た。それを父は一つ残らず拾つて家に持ち帰り「表の皮は泥がついていても、中の餡は何ともないから餡だけ出して汁粉にでもして食べると良い」と女中に渡した。

私達はお父様よく拾つていらつしやいましたね、母などは「みつともない、そんな物棄てていらつしやればよいのに」と云ったが、父は「役に立つ物を棄てては勿体ない」と平気なものであった。

こんな事も常人にはなかなかできないだろう。（表の電車通りの商店では、父が何処の誰であるかは皆知つて居たから）

父は日本酒が好物で昼、夜、食事の時、実に美味しそうに手酌でチビリチビリと飲んで居たが、それもお銚子一本が決まりで、夜は一本のお銚子にお湯を足して二本分にして飲んでいた。

私が「お父様そんな事をなさつてまづくは御座いませんか」と云えば、「此の方が身体の為に害にならないうし結構お酒の味はするし長く楽しめる」と云つて居た。これが父の格言「朝はいや、昼少々、夜たっぷり」の意なのである。

義妹がお喋りをしながら「ご飯をこぼした時父は「此のお米の一粒一粒にもお百姓さんの尊いあぶらと汗が流れて居るのだよ」と云い乍ら拾つては自分の口に入れ、決して小言は云わなかった。

父の事を思い出すと、次から次へと思ひ出の糸はたぐられる。

晩年の父は旅行中の身体を休める為にと、一等寝台列車を利用して居た。当時新聞に名氏往来と云う欄が有り、一等の乗客の行く先は大程報ぜられた。父は切抜通信社に依頼してあったので、父の動静は旅行中ずっと切抜通信社から送って来る切り抜きに依り知る事が出来た（此の切抜通信は、全国のどんな小さい新聞にでも父の名の出ているものは、最大漏らさず切り抜き、まとめて送って来た）

疲れた身体と睡眠を良く取れる様にと旅行中ポケットウイスキーは離れた事はなかった。今にして思えば支那旅行の途次、長途の旅の疲れとウイスキーの飲み過ぎも原因で、あの様な最後を迎えたのではないかと思われる。（父は六月五日支那旅行最後の地大連の幼稚園にて講演中倒れ、翌日六日未明不帰の客となった）

六十二才、もう少しせめて後十年父に存命して貰えたら子供達に何等かの影響を与え、又無言の教訓を得られたのにと、まことに残念に堪えぬ。よく私は、主人に「お父様の爪のあかでも頂いておいて、煎じて飲ませて上げたかった」と冗談交じりに云うと、主人は「お父様は人間じゃないよ、神様が仏様だよ、あんな真似出来るかい」と何時も云っていた。

実に其の通り、悟りを会得した高僧の如く、凡人に真似の出来ない事は多くあった。

今でも私は父の書を見れば、父が漢詩を口ずさみ乍ら一氣に筆を走らせて居た姿が浮かび、哲学堂に行けば、靈明閣で書見中の父、学校遠足の生徒来たりて気張るままに、庭に降り立ち講演をして居た姿が彷彿として浮かぶのである。

先年、明治百年を記念して長崎県十九島の一つ福島町の景観の良い小高い丘陵に父の碑が建ち、又下呂温泉より飛騨高山に向かう天下の名勝中山七里の街道にも立派な碑が建った。これ等は往時父が巡講に廻りし地である。旅の途次、宿にて思いもかけず父の書を見たりする時は、実に懐かしと思う。

・文中に差別的・侮蔑的表現がございますが、当時の様子を損なうことがないようそのまま使用いたしました。

・内も、井上 信子氏の記述です。

●井上 信子氏 経歴

井上 信子（旧姓 古谷 信子 1899年4月26日～1991年5月22日）

文京区西片で生まれ、父は元東京商船学校校長古谷忠造。1919年4月7日 井上 円了の長男玄一と日比谷大神宮で結婚式を挙行、築地の精養軒で晩餐会実施。井上 円了著 南船北馬集 第14編に一部記載あり）

住居は京北幼稚園の隣にあり、よく園児の声が聞こえたと言っていた。その後哲学堂へ引越す。



▲井上 信子氏



▲昔の京北幼稚園児と一緒に



▲昔の京北幼稚園児と一緒に



▲結婚記念帖



▲井上信子氏の手記

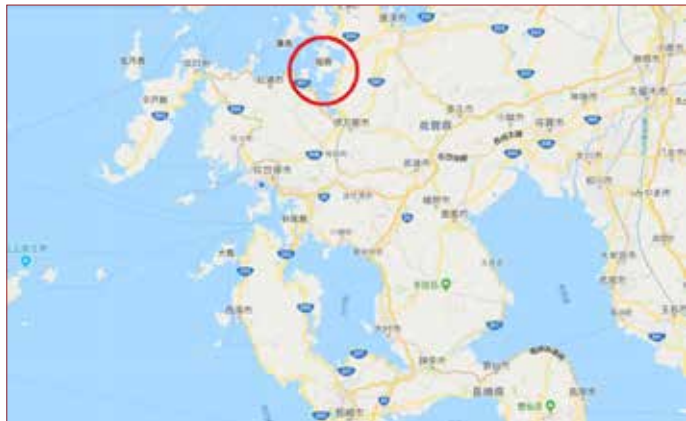


(二) 井上 信子氏長崎県松浦市を訪問

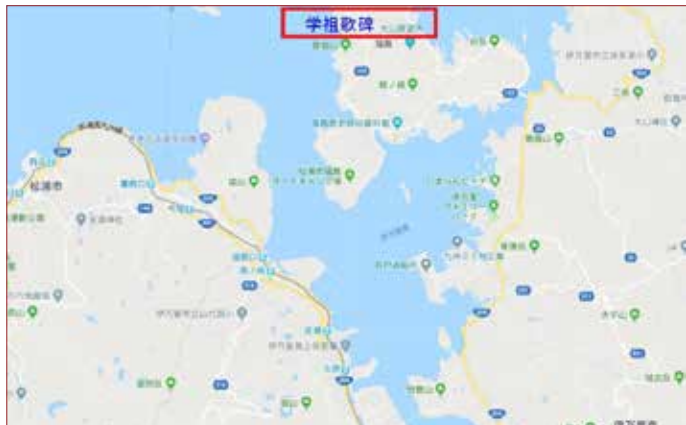
1970年11月に「義父の思い出」の筆者が、文中にある長崎県松浦市福島町 大山公園展望所に建立されている、井上 円了先生の歌碑（下記写真）を訪れました。その際の書を松浦市のご厚意で白御影石に碑文として建立して頂いた（東洋大学校友会長崎支部ブログ引用）。

（お礼）

東洋大学校友会の長崎県支部長上蘭 茂樹様、同佐賀県元支部長古川 恒雄様には、現在も歌碑と碑面を大切に保存する為に尽力されていることに大変感謝を致します。



▲松浦市福島の位置



▲大山展望所の位置



▲井上 信子氏の碑文



▲井上 円了先生の歌碑

海につり 山に
耕し 地に
ほりて
民のかまどは
福々の島

浦水 道人

活躍する部活動

2015年度に創部し、この4月に5年目となりました吹奏楽部は、今年度は本校の音楽科講師の兼清先生のご指導のもと、中高合わせて32名で活動しています。毎年参加している東京吹奏楽連盟のコンクールの他、福祉施設への依頼演奏やバンドフェスティバルへの参加、カナダの高校との合同演奏会など徐々に活動の幅を広げており、今年の1月に参加したアンサンブルコンテストにおいては、参加した生徒が銀賞を受賞するなど、部として成熟へと向かっていることを実感する日々です。

今夏も吹奏楽コンクールへ出場したほか、文化祭においても企画している演奏発表に向けて、厳しくも充実の夏休みを過ごしました。皆様におかれましても、ご来校の際には是非吹奏楽部の演奏に耳を傾けていただくと幸いです。

湯澤 貴通先生 田中 亜美先生 田中 俊助先生 金田 幹先生 指導者…兼清 颯先生



進路・進学状況 (2019年3月卒業生)



平成30年度 東洋大学京北高校卒業
早稲田大学 教育学部
宮 島 卓 冬

《合格できたポイントは、どのような点ですか》

センター試験ではあまり結果が振るいませんでした。自信を持って本番に臨んだため自己採点直後はとても落ち込みました。しかし、この結果を引きずってしまおうと、その後の私大入試に悪影響が出てしまう恐れがあることにすぐに気がつくことができたので、開き直ってセンター試験の事をわすれて先を見据えて私大入試に意識を切り替えました。そのおかげで私大入試では緊張しすぎたり、時間配分で失敗したりせず、自分の本来の実力を発揮することができました。

《高校では、どのような勉強法をしましたか》

高1の時から自習室を頻繁に利用しチューターの方に勉強計画を立てるのを手伝ってもらったりしました。英語の先生には、自分で取り組んでいる長文の参考書で答えを見ても分からなかった問題や、構文が把握できなかった箇所を積極的に質問し、疑問をすぐに解消できるようにしたため自分の進歩を実感できました。世界史に関しては自分が苦手な単元や分野、問題形式の対策プリントを先生に頼んで作っていただきました。

《後輩へ助言をお願いします》

皆さんに伝えたいことは2つあります。1つ目は主体的に分析することです。具体的には自分の実力、志望校との距離、何が苦手で、どのような問題で間違え、どの参考書が役に立つかなどの分析をし、様々な情報を考慮して最終的には自分で判断することです。2つ目は、学校を最大限活用すべきということです。私は自習室でよく勉強していましたが定期テスト前以外はあまり人がいない印象でしたが、私と同じように先生に質問する人は少なかったように思いました。私は先生方やチューターさんにとっても感謝しているので自習室を利用する人や先生に積極的に質問する人が増えてほしいです。

・「受験は団体戦」という言葉がよく使われますが、これは本当です。環境は全員が協力して作ります。クラスには推薦やAO、一般受験の人などたくさんいます。その全員が勉強しやすい環境を作るのは全員の使命です。

・夏までに理科第一解答科目を全て自分で終わらせておくとはやはりその後が楽です。理科は特に時間がかかる科目なので焦らずやることも大切になります。



平成30年度 東洋大学京北高校卒業
上智大学 法学部
丸 林 菜 緒

《いつ頃、どのようにして志望校・学部学科を決めましたか》

先輩の受験報告会で推薦の存在を知ってから、ずつと頭の片隅にはありました。3年の夏休みに挑戦してみたいと思い、受験することを決めました。もともと学部は決めていたのですが、自分でも自分が一番興味のある学科を受験することになりました。

《合格できたポイントは、どのような点ですか》

面接や小論文を何人もの先生にみていただき、最後まであきらめなかったことに尽きるとしています。

《後輩へ助言をお願いします》

自分は受験することを決めたのが遅かったため、他の人よりも自己推薦書などに取り掛かるのが遅くなってしまいました。そのため、一般受験との両立がうまくできなかったと思います。自己推薦書や大学側からの課題類は時間をかけて後悔のないものをつくるべきなので、何事も早めに取り掛かるべきだと思います。



平成30年度 東洋大学京北高校卒業
東洋大学 経営学部
戸 部 歩 乃 果

《いつ頃、どのようにして志望校・学部学科を決めましたか》

はじめは、国際系に進もうと考えていましたが、調べていくうちに、入学後のイメージが自分の想像していた内容とあっていないことに気がきました。そこで、別な角度から学ぶ方が良さかもしれないと思い、商品開発などを学ぶことができる学科へと志望を変更しました。実は、一般入試を考えていましたが、模試の成績の動きなどをみながら、担任の先生と相談を重ね、9月の三者面談の時に附属推薦で受験することを決めました。

《合格できたポイントは、どのような点ですか》

1年生からの小さな努力の積み重ねだと思っています。そして、気持ち。やるぞ!という気持ちで臨まないと、なかなか模試で点に結びつきません。

《後輩へ助言をお願いします》

第2外国語を勉強しているなら絶対に検定を受けるべきです。英語と同じで、視覚によつては外国語の試験が免除される大学があります。私がこのことに気付いた時にはもう遅かったというのが実際です。可能性を広げるためにも、第2外国語を学ぶ2年生のうちに、積極的に資格試験は受けるべきだと思います。

東洋大学京北高等学校

【四年制大学】

昭和女子大学	1名	東京工業大学	1名	茨城大学	1名	新潟大学	1名	埼玉県立大学	1名	慶應義塾大学	1名	早稲田大学	3名	上智大学	3名	東京理科大学	2名	青山学院大学	4名	中央大学	6名	明治大学	3名	立教大学	5名	法政大学	4名	学習院大学	1名	成城大学	2名	成蹊大学	2名	明治学院大学	1名	國學院大学	8名	武蔵大学	5名	獨協大学	10名	東洋大学	76名	東洋大学 (イブニング)	1名	日本大学	10名	駒沢大学	1名	専修大学	8名	東京歯科大学	1名	東京慈恵会医科大学	1名	東京医科大学	1名	順天堂大学	2名	北里大学	1名	日本薬科大学	1名	東邦大学	1名	工学院大学	4名	東京電機大学	1名	東京都市大学	2名	千葉工業大学	14名	津田塾大学	1名	東京女子大学	2名	日本女子大学	2名
--------	----	--------	----	------	----	------	----	--------	----	--------	----	-------	----	------	----	--------	----	--------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	-------	----	------	----	------	----	--------	----	-------	----	------	----	------	-----	------	-----	--------------	----	------	-----	------	----	------	----	--------	----	-----------	----	--------	----	-------	----	------	----	--------	----	------	----	-------	----	--------	----	--------	----	--------	-----	-------	----	--------	----	--------	----

【短期大学】

神田外語大学	5名	麗澤大学	1名	和洋女子大学	3名	常磐大学	1名	中央大学	1名	甲南大学	1名	東京家政大学短期大学部	2名	拓殖大学北海道短期大学	1名	國學院栃木短期大学	2名
--------	----	------	----	--------	----	------	----	------	----	------	----	-------------	----	-------------	----	-----------	----

【海外進学】

【専門学校】

聖心女子大学	1名	大妻女子大学	3名	共立女子大学	1名	実践女子大学	1名	武蔵野大学	6名	亜細亜大学	3名	国士館大学	3名	大東文化大学	2名	帝京大学	1名	東海大学	3名	跡見学園女子大学	1名	桜美林大学	2名	嘉悦大学	1名	杏林大学	2名	産業能率大学	5名	白梅学園大学	3名	清泉女子大学	1名	大正大学	9名	拓殖大学	6名	多摩大学	1名	帝京科学大学	2名	帝京平成大学	3名	東京家政学院大学	1名	東京経済大学	1名	東京工科大学	2名	東京成徳大学	1名	東京保健医療大学	1名	日本文化大学	3名	文化学園大学	9名	文京学院大学	1名	明星大学	3名	立正大学	1名	和光大学	2名	十文字女子大学	1名	女子栄養大学	1名	東京国際大学	7名	鎌倉女子大学	2名	関東学院大学	1名	聖徳大学	2名
--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	-------	----	-------	----	-------	----	--------	----	------	----	------	----	----------	----	-------	----	------	----	------	----	--------	----	--------	----	--------	----	------	----	------	----	------	----	--------	----	--------	----	----------	----	--------	----	--------	----	--------	----	----------	----	--------	----	--------	----	--------	----	------	----	------	----	------	----	---------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	------	----

祝 創立120周年

名刺広告を募集しております。

東洋大学京北校友会 常任協議員 会長 井上 進 (高校十八回卒) 中野区松が丘一三五一十三 ☎〇三(三九五)二三三三	東洋大学京北校友会 常任協議員 常任協議員監事 笹子 宣夫 (高校一〇回卒)	東洋大学京北校友会 石島 眞一 (高校十一回卒) 青山もっさんばーど(焼き鳥屋) 足立区江北四一三〇一三三三 ☎〇九〇(四〇九)〇七二九	医療法人社団明徳会福岡歯科会 会長 医学博士 福岡 明 (実業三十三回生) 理事長 医学博士 歯科医師 福岡 博史 診療所(医) 明徳会福岡歯科 郵便ビル院 中央区日本橋茅場町一八三 ☎〇三(三六六)一一四五 新川ビル院 中央区新川一三三七 ☎〇三(三五五)二二三二 目黒区祐天寺一七七一〇 ☎〇三(三七九)四六一八 祐天寺院	京北中学・高等学校 白山高等学校前校長 学校法人東洋大学京北幼稚園園長 東洋大学評議員 川合 正
東洋大学京北校友会 顧問 川口 久夫 (商高二回卒) 前文京区議会議員 文京区本郷二一七五一〇六 ☎〇三(三八二)三三三三	東洋大学京北校友会 常任協議員 常任協議員監事 山田 邦彦 (高校三十一回卒) 葛飾区西新小岩三二六十五一〇七 ☎〇三(三六九)三六五三	東洋大学京北校友会 常任協議員 常任協議員 金子 功 (商高一〇回卒) 川口市元郷一七七一十五 ☎〇四八(二二四)八四〇三	東洋大学京北校友会 協議員 小林 弘 (高校二十三回卒) 株式会社山登小林 代表取締役 タオルペーパー・トイレットペーパー卸業 荒川区東日暮里六一九一 ☎〇三(三八九)四〇八一	東洋大学京北校友会 協議員 鈴木 力 (高校二十七回卒) 株式会社中町印刷 ポークスカウト文京一団 団委員 文京区白山二二一十六 ☎〇三(三八二)三〇四六
東洋大学京北校友会 顧問 杉野 廣 (高校一〇回卒)	東洋大学京北校友会 常任協議員 副会長 前島 茂 (高校十七回卒)	東洋大学京北校友会 常任協議員 元副会長 鈴木 晴夫 (商高一〇回卒) 文京区小石川五十一十四 ☎〇三(三八二)〇三二六	東洋大学京北校友会 江辺 英雄 (商高十六回卒) 株式会社コッチ 代表取締役 台東区浅草橋二二七十七 ☎〇八〇・六五一四・〇〇三三	馬場商工株式会社 専務取締役 馬場 恵一郎 (高校四十七回・平成七年卒) 東京都港区西新橋三丁目二十三番八号 ☎〇三(三四三)〇三二一(代) 〇三(三四三)〇三三五
東洋大学京北校友会 常任協議員 島谷 文雄 (高校十一回卒) 中央大学柔道OB 京北に柔道部を復活しよう！	東洋大学京北校友会 常任協議員 副会長 柴崎 俊樹 (高校五十二回卒) 文京区大塚五一八一四 ☎〇三(三九四)二六九八	東洋大学京北校友会 常任協議員 元副会長 福勝寺前住職 佐々木 邦宏 (高校十二回卒) 文京区小日向一八八一五 ☎〇三(三九五)八六四〇	東洋大学京北校友会 常任協議員 清水 衛 (商高二十二回卒) 常南通運株式会社 中央配送センター所長 営業所 千葉県流山市前ヶ崎三八二 本社 千葉県柏市豊四季二五〇番地六	東洋大学京北校友会 常任協議員 館内 宏 (高校七回卒) 東京都東村山市富士見町三十二二 ☎〇四二(三九一)四〇九九
北茨城市長 豊田 稔 (高校十五回卒) 北茨城市磯原町磯原一六三〇 ☎〇二九三(四二)一一一一	(公社)東京都宅地建物取引業協会 江東区支部役員 東洋大学京北校友会副会長 有限会社ヤマト不動産 代表取締役 門戸 暢 (高校二十七回卒) 江東区東陽三二一四一十七会社 ☎〇三(三六四)〇〇〇一 江東区東陽四一四一三二五〇九自宅	東洋大学京北校友会 常任協議員 元副会長 齋藤 博 (高校二十四回卒) 文京区本駒込二二〇八八〇一 ☎〇三(三八二)五九五二	東洋大学京北校友会 常任協議員 常任協議員前監事 川野 佳範 (高校十三回卒) 公認会計士・税理士・行政書士 江戸川区西小松川二六一六 ☎〇三(三六五)二七六三	東洋大学京北校友会 渡辺 栄仁 (高校十八回卒) 草加貸倉庫・渡辺マンション代表 荒川区荒川四一三二一〇 ☎〇三(三八九)五三〇三

順不同

會費



What's ADVAN?

我が母校を誇りに思っています！
後輩の皆さんと語り合いたいと思っています。

1961 年卒業

株式会社アドヴァン

創業者会長 **山形雅二**

1975 年に私が創業したのは、世界の一級品を納得価格でお届けする建築用仕上材のファブレスメーカー「株式会社アドヴァン」。

取扱商品は、キッチン、蛇口などの水廻り商品、タイル・大理石などの様々な床壁材、暖炉あわせて約 5000 品目。

ヨーロッパをはじめとする世界のトップメーカー約 350 社と提携。デザイン性・機能性に優れた建築用仕上材を開発し、日本全国 8 拠点で販売する「ファブレスメーカー」です。「ファブレス」、つまり生産設備を持たないからこそ、市場のニーズに柔軟に対応し、常に新商品を開発。設立以来、事業分野を拡大してきました。

本社 東京都渋谷区神宮前 4-32-14

TEL: 03 (3475) 0394 (代)

写真: 東京ショールーム 2F



●編集後記・その他

★会報55号をお送りします。

今年も鶏聲55号の発行に当たり、校友会の皆様及び学校関係者の皆様のご協力により、会報をお届けできたことを、会報担当者一同感謝致しております。

東洋大学理事長 安齋 隆様並びに京北学校長 石坂 康倫先生には、ご挨拶文を頂戴しましてありがとうございます。また、企業広告を頂きました各会社様、校友会名刺広告に賛同を頂きました卒業生の皆様に厚く感謝を致すと共に、今後とも校友会の発展のために引き続きご支援を賜りたくよろしくお願い致します。

昨年度実行できなかった、インターネットを活用した校友会活動を少しずつ始めています。

検索サイトにて、「京北校友会」を検索いただくか、www.keiho-koyukai.jp に直接アクセスいただきますと、校友会のホームページが開きます。校友会ホームページと併設の形でブログを開設したので、今度以上に更新して参ります。

これからは先輩方にご満足いただけるよう広報一同、気を引き締めて広報活動・会報作りを心がけたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

会長 井上 進

校友会副会長 柴崎俊樹

広報担当協議員 館内宏、佐々木邦宏、齋藤博

★今号の特集記事

年号が令和になりました初めての会報を皆様にお届けすることが出来ました。今年は京北中学高等学校が創立120周年記念であること、また、創立者の井上円了没後100周年であります。

掲載の特集記事(P6)は、京北の歴史を過去の会報誌から集めてみました。(P7)は、浜辺の歌の作詞者であり京北中学で教鞭をとられていた林古溪先生を掲載しました。(P8～P10)は、家を整理していた時に

祖母(井上 信子)が執筆した原稿が見つかりました。京北では未発表記事であり井上家に嫁いできたことや円了先生の普段の様子がかがえる貴重な資料であると思います。少し記事としては長文ですが、今回は連載にしないで、創立120周年記念ということで特別に会報のページ枚数を4枚増やして一回で皆様に読んで頂ける様に致しました。

特集記事を読みますと、令和になり明治などの古いものが段々となくなっていくのが少し寂しい気がしました。

★総会のお知らせ

10月6日(日)正午より、東洋大学白山キャンパスに於いて総会(同窓会)を開催し、「校友会の決算報告並びに予算報告」を行います。

総会の後、引き続き懇親会を行います。今年は新卒業生も参加して頂き、新たな総会にしたいと考えています。今年の同窓会のご招待者は、「卒業50年生の方」昭和44年卒業の高校21回、商業16回の方です。

また、「20歳のご招待の方」は、平成29年3月卒業高校69回の皆様です。旧友をお誘いの上ご参加ください。尚、ご案内状が届いていらっしゃる方のご返信に、参加予定者の卒業学校、卒業年度とお名前を併記して頂きご参加を頂くか、校友会にご連絡を頂きたいと思ひます。

●改めて校友会への寄付お礼

何時も校友会にご協力を頂き有難うございます。

平成29年に高額の寄付を頂きました高校47回卒業の馬場商工株式会社専務取締役馬場恵一郎様には、本誌名刺広告に掲載をさせていただきました。本誌面で改めて御礼を申し上げます。

●災害で被災されました皆さまへお見舞い申し上げます。

2018年の9月には北海道で大地震が、2019年6月にも山形県沖で大地震が発生しました。相次ぐ自然災害に際しましては、卒業生の皆さまの中に或いは、ご家族・ご親戚の方々が被災をされているのではないかと

思ひます。災害でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

被災地の日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

発行 令和元年九月

編集 東洋大学京北校友会広報委員会

発行者 東洋大学京北校友会会長 井上 進

代表者 広報担当校友会副会長 柴崎 俊樹

〒112-8607 東京都文京区白山二一三六五

☎(五六一五) 八九七九



東洋大学京北校友会

〒112-8607 東京都文京区白山 2-36-5 2F 校友会室

Tel 03-5615-8979 Fax03-5615-8979

www.keihokukoyukai.jp/

東洋大学京北中学校 KEIHOKU JUNIOR HIGH SCHOOL

東洋大学京北高等学校 KEIHOKU HIGH SCHOOL

京北学園白山高等学校 HAKUSAN HIGH SCHOOL